

令和3年度B日程
学力検査問題

①

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて6ページで、問題は□一から□三まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に
志願先高等学校名と受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて**解答用紙の指定された欄**に書きなさい。

志願先高等学校名

高等学校

受検番号

□ 次の(一)～(五)の問いに答えなさい。

(一) 次の1・2の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

1 柔^な和^なな表情をする。

2 装飾を施^すす。

(二) 次の1・2の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

1 素晴らしい手腕にケイ^フクする。

2 食事会の席をモウ^ウける。

(三) 次の行書で書かれた漢字の部首の名称を、ひらがなで書け。

袖

(四) 次の短歌とその鑑賞文を読み、後の1・2の問いに答えよ。

菜園の青葉の波の影日向出入りしており紋白の翅

冬道麻子 (『五官の束』)

紋白蝶は春から十月ころまで飛んでいる蝶で、この歌の菜園にはキャベツや大根などを栽培しているのだろう。上の句の□ a □を「の」でつないでいくリズムがいい。情景も瑞々しく、くつきりとしている。「青葉の波の影日向」が蝶の動きと連動しながら、色彩感のある□ b □を作っていく描写で通した歌のよさがある。

(河野裕子『うたの歳時記』による)

1 鑑賞文中の□ a □に当てはまる品詞名として適切なものを、漢字で書け。

2 鑑賞文中の□ b □に当てはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 明暗

イ 強弱

ウ 悲喜

エ 清濁

- (五) ひろみさんは、家庭科クラブで作ることになったレシピ集の中で、ハンバーグのレシピを担当することになった。次の【レシピ】は、ひろみさんがまとめたものである。これを読み、後の1〜3の問いに答えよ。

【レシピ】

<div data-bbox="167 443 470 519" data-label="Section-Header"> <h2>ハンバーグ</h2> </div> <div data-bbox="300 577 497 936" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="175 1003 399 1041" data-label="Section-Header"> <p>〔材料〕（4個分）</p> </div> <div data-bbox="199 1052 582 1355" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ・ひき肉…250g ・玉ねぎ（大）…2分の1個 ・牛乳…大さじ4 ・パン粉…大さじ4 ・塩、こしょう…少々 ・サラダ油…適量 </div>	<div data-bbox="662 443 790 481" data-label="Section-Header"> <p>〔作り方〕</p> </div> <div data-bbox="646 492 1436 1153" data-label="List-Group"> <ol style="list-style-type: none"> ① 玉ねぎをみじん切りにする。 ② フライパンにサラダ油を熱し、みじん切りにした玉ねぎをきつね色になるまでいためる。<u>冷めるまでいためた玉ねぎは置いておく。</u> ③ パン粉を湿らせておく。 ④ ボウルにひき肉を入れ、玉ねぎ、パン粉、塩、こしょうを入れて、粘りが出るまで手でよく混ぜる。 ⑤ ④の4分の1の量を手に取り、右手と左手でキャッチボールをするようにして空気を抜く。 ⑥ だ円形に形を整え、真ん中を指で押さえてくぼませる。 ⑦ フライパンで、両面に軽く焦げ目がつくまで焼いた後、蓋をして蒸し焼きにし、中まで火を通す。 ⑧ 皿に盛り付ける。 </div> <div data-bbox="678 1209 1069 1243" data-label="Section-Header"> <p>☞ワンポイント・アドバイス</p> </div> <div data-bbox="742 1254 1428 1355" data-label="Text"> <p>竹串を刺して、透明な肉汁が出てくれば、中まで火が通ったと判断できる。</p> </div>
--	---

- 1 ひろみさんは、【レシピ】を見直しているうち、〔材料〕にあるのに、〔作り方〕には書けていないものがあることに気づいた。その材料名を、【レシピ】中からそのまま抜き出して書け。
- 2 ひろみさんは、【レシピ】中の——線部の「冷めるまでいためた玉ねぎは置いておく。」が、言葉の順序が適切でない文であることに気づいた。——線部を、言葉の順序が適切な文となるように、言葉の順序を入れ替えて、一文で書け。
- 3 【レシピ】中の〔作り方〕の書き方を説明したものとして誤っているものを、次のア〜エから一つ選び、その記号を書け。
 - ア 作業の目安を、視覚や触覚に関する表現を用いてわかりやすく表現している。
 - イ 手順の中で判断が難しい点について、ワンポイント・アドバイスで補っている。
 - ウ 情報が的確に伝わるように、多くの人が理解しやすい比喩を用いて説明している。
 - エ 時間や分量を数値で明確に表すことで、初心者でも作れるように工夫している。

三 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

わたしたちは原油を地中から掘りだし、精製工場でガソリンや灯油、プラスチックの原料となる「ナフサ」などの石油製品をつくる。それが現代の文明を支えている。原油からつくった製品は、自然とは相いれない人工的な異物だと考えがちだが、じつは原油は、紙をつくる原料となる植物の繊維とおなじように天然の素材だ。紙は天然素材からつくられ、プラスチックは天然ではない人工物というほど、話は単純ではない。

地中に埋もれている原油の材料は、微生物などの生き物の死がいた。地中に埋まった生き物の死がいが、何千万年、何億年という長い月日をへて変質したものだ。それをいま、わたしたちが掘りだして使っている。

石炭にしてもおなじことだ。地球の歴史のなかには「石炭紀」という時代区分がある。いまから3億6000万～3億年ほどまえのことだ。そのころ地上には樹木が生え、大形の昆虫が生息していた。その前後の地層から多くの石炭がみつつかつている。それが「石炭紀」とよばれる理由だ。

石炭は、樹木が湿地で倒れて、微生物などによりじゅうぶんに分解されないまま地中に埋もれ、熱などが加わって長い時間をかけてできたものだ。だから、植物の体をつくっていた「炭素」が主成分になっている。

もし、わたしたちが、何千万年、何億年という長い時間をかけて、ほんの少しずつ石炭や石油を使うのであれば、そのあいだに新しい石炭や石油ができるので、地球の資源は減らない。炭素を含んでいる石炭や石油を燃やして二酸化炭素が大気中に出ても、植物の光合成でそれが動植物の体内に取りこまれ、それが新しい石炭や石油になるのだからプラスマイナスゼロだ。大気中に二酸化炭素が増えすぎて地球温暖化がおこることもない。

大気中の二酸化炭素を植物が取りこみ、それを動植物が栄養分にする。そのとき呼吸したり、死がいが分解されたりして、生き物が使った炭素はふたたび二酸化炭素として大気中に放出される。一部は石炭や石油として地中に埋もれていく。地殻変動などでそれらが地表に現れれば、野火などで燃えて二酸化炭素が大気中に出ていくこともあるだろう。それが、地球にもともとそなわっている炭素のリサイクルだ。

にもかかわらず、石炭や石油をわたしたちが大量に掘りだして燃やし、本来なら地中に埋まったままであるはずの炭素を、二酸化炭素として大気中に放出してしまった。これでは、地球の炭素のリサイクルは間に合わない。こうして二酸化炭素は大気中に増え続けていく。これが現在の地球温暖化だ。

わたしたちが地球のリサイクルに割って入り、その自然な流れを狂わせてしまっている。地球が炭素のリサイクルをするために必要な時間のスケールと、わたしたち人間が活動する時間のスケールが、あまりにも違いすぎる。わたしたち人間は、地球の自然な営みから見ると、事を急ぎすぎているのだ。

プラスチックごみの問題も、これとよく似ている。

プラスチックの原料は、むかしは石炭、いまはおもに石油だ。さきほど述べたように、石炭や石油は、もともと地球上の生き物の体だった。生き物が死ぬと、その体は微生物が分解して土にかえる。体を構成していた炭素や酸素などは、ふたたび自然界に放出されて再利用される。このリサイクルには、生き物の体を分解してくれるバクテリアなどの微生物が必要だ。地球は46億年の歴史のなかで、リサイクルに必要な微生物を手に入れた。ア

このような微生物は、いてあたりまえなのではない。地中にたくさんの樹木が埋まって石炭ができた石炭紀には、枯れて倒れた樹木を分解する菌類などの微生物が、まだじゅうぶんに進化していなかったといわれている。微生物がいれば分解されてしまうはずだが、それがあまりいなかっただけに

そのまま地中に埋まり、石炭になった。その当時、枯れた樹木は、なかなか分解されない「やつがいなごみ」だったことになる。 **イ**

プラスチックが大量消費されるようになって、せいぜい100年。プラスチックを食べて分解する微生物もいるにはいるが、まだまだ例外的だ。これはたんなる想像にすぎないが、やがてはプラスチックを食べる微生物も、生き物の死がい分解する微生物のように、地球上の土にも海にもごくありふれた存在になるのかもしれない。だが、それには何千万年、何億年という地球史的な時間がかかるのだらう。 **ウ**

人類が誕生してからまだ700万年。地球史からみると、ほんの一瞬のごく最近のことではない。人類が減じたあとで、その負の遺産であるプラスチックごみを、やつと新たに誕生した微生物がもりもり食べて分解しているなどというのは、笑えないブラックユーモアだ。 **エ**

プラスチックは、地中から掘りだした天然の素材である原油を原料としているが、その加工の過程で、自然の炭素リサイクルに任せることのできない人工物にしてしまった。地球自身も持っているリサイクルのしくみから、はみ出てしまっている。だから、「焼却」または「リサイクル」という強制的で人工的な手段を使わなければ、プラスチックごみはなくなる。ポイ捨てのような自然に任す方法は無効なのだ。
(保坂直紀『海洋プラスチック』による。一部省略等がある)

(注) スケール：物差し。また、その目盛り。

- (一) 文章中から次の一文を抜いてあるが、文章中の **ア**、**イ**、**エ** のうち、どこに入れるのが最も適切か、記号で書け。

現代のプラスチックと似ている。

- (二) 文章中の——線部1の「石炭にしてもおなじことだ」とはどういうことか。その内容を、次のように説明するとき、 に当てはまる適切な言葉を、「時間」という言葉を必ず使って、**三十字以上四十字以内**で書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

石炭と石油は、 ということで共通しているということ。

- (三) 文章中の——線部2に「地球自身も持っているリサイクルのしくみから、はみ出てしまっている」とあるが、筆者はここでどういうことを述べているか。その内容として最も適切なものを、次の**ア**、**イ**から**一つ**選び、その記号を書け。

ア 地球には、あらゆる異物を分解し自然にかえしていくというリサイクルの機能がそなわっているが、プラスチックは天然のものではなく人工物であるために、プラスチックを分解する微生物は科学技術の力で生み出さなければならないということ。

イ 地球には、長い年月をかけて資源をつくり上げたり二酸化炭素をリサイクルしたりする力があつたが、人間が大量にプラスチックをつくりだすことで急激に資源が減少したうえに、地球のリサイクルのスケールでは再利用も間に合わなくなったということ。

ウ 地球上では、長い歴史の中で生き物の体を分解する微生物が生まれ、自然の炭素リサイクルがうまく回っていたが、プラスチックは自然界の物からつくられたにもかかわらず、微生物が分解することの難しい人工物になってしまったということ。

エ 地球上では、石炭や石油、動植物などのさまざまなものが長い時間をかけてできたり進化したたりしてバランスのとれた生態系がつけられてきたが、プラスチックの処理は地球のリサイクルの枠を超えており、生態系を危険にさらしているということ。

- (四) 文章中の——線部に「プラスチックごみの問題」とあるが、筆者は、プラスチックごみの問題を解決することについて、この文章の後で次の【資料】のように述べている。この【資料】を読み、後の問いに答えよ。

【資料】

このさき社会はプラスチックとどう付き合っていくのか。陸に海にあふれるプラスチックごみを前にして、なんとかしたいと思う人は少なからずいるだろう。だが、では具体的にどうするかとなると、そこには個人個人のさまざまな価値観、考え方、生活スタイルなどが絡み、ひとつの正解を目指してみんなが協力するという単純な図式にはなりそうもない。

レジ袋の有料義務化についても、さまざまな考え方があるだろう。有料化すれば海や陸にごみとして漏れだすレジ袋も減って環境がよくなり、それでみんなが恩恵を受ける。だから、無料だったはずのレジ袋を買うことになっても、それくらいは全体のためにがまんすべきだという考え方。お客さんのためを思ってレジ袋を無料配布する商店の自由を国が制限するのは、そもそもおかしいじゃないかという立場。レジ袋を有料化すれば、金持ちにとつてはどうということのない出費でも、苦しい生活をしている人には負担になる。国がこうした不平等を人々に押しつけてよいのか。あるいは、すべての人はこの社会という共同体で生きているのだから、共同体の価値観にあるていと縛られるのは当然だという考え方も。

社会の「正義」とはなにかという大きなテーマにも発展しそうなこれらの立場や考え方の違いは、わたしたちの日常生活においては、結局のところ優劣はつけがたい。これらの違いを内に抱えたまま、プラスチックごみ問題を解決していかなければならない。

- 問い プラスチックごみの問題を解決することについて、【資料】中で筆者はどのように述べているか。また、そのような筆者の考えについて、あなたはどうか考えるか。次の条件1～3にしたがって書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を八十字以上百字以内にまとめること。

条件2 最初に、筆者の考えを説明し、次に、それに対する自分の考えを書くこと。

条件3 自分の考えについては、必ず、なぜそう考えるかという理由を明らかにして書くこと。

三 次の文章を読み、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。

ある吝嗇^{りんしゃく}なるもの、「ことしはことにももの費やしぬ」とて、および折りてかぞへたてぬ。¹「まづ春より秋まで、かのいたづきによて、のめる薬もかばかりなり、それにかかる事もありし」などかぞへつ
ついふを、つくづくとききぬし人が、「いとさりがたきがうへに、²君が身につきたるものひとつあり。
是^{こゝろ}をいかで費えといはん」といへば、「なになるや」ととふ。「薬のみ給はずば、かく今日なげき事も
えいひ給はじ。かくいひ給ふは薬のめぐみなれば、それにむくひ給ふを費えと心得給ふか」といひし。
かのひとはこれを費えとせちに思ひけんかし。

(松平定信『花月草紙』による)

(注) 吝嗇なるもの…ひどく物惜しみをする人。けちな人。

および…指。 かのいたづきによて…あの病気によつて。

費え…出費。無駄遣い。 薬のみ給はずば…薬をお飲みにならなければ。

えいひ給はじ…おっしゃることができないでしょう。 せちに…ひたすらに。

(一) 文章中の——線部1の「かぞへたてぬ」を現代仮名遣いに直して、——線部全部をひらがなで書け。

(二) 文章中の——線部2の「君が身につきたるもの」とは、どのようなものか。その内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 命や健康

イ 金や名誉

ウ 病気やけが

エ 知恵や経験

(三) この文章で述べられている内容と合っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア あるけちな人が、今年は薬の効果が全く現れなかったとして、薬の代金を払ったことを悔やんでいたが、その言葉を聞いていた人は、薬は飲み続けることで効果が現れるので、薬を飲み続けるべきだと考えている。

イ あるけちな人が、今年は特に無駄遣いがあったとして、病気の時に飲んだ薬も無駄遣いだと考えていたが、その言葉を聞いていた人は、薬の恩恵はあるのだから、薬を飲むことは無駄遣いではないと考えている。

ウ あるけちな人が、今年は商売で大損をしたとして、売れ残った薬を指折り数えていたが、その言葉を聞いていた人は、薬が売れ残るのは病気で苦しむ人が少なかったということだから、嘆くことではないと考えている。

エ あるけちな人が、今年は多くの出費があったとして、薬を買うことを節約しようと考えていたが、その言葉を聞いていた人は、今は元気でも今後病気になるかもしれないので、薬を準備しておくべきだと考えている。